

# 1 部

学習サポート

## 各種申込締切について

『試験・スクーリング 情報ブック2015』にてご確認ください。

- ・ p. 4～5→学年暦
- ・ p. 8～11→通信教育部カレンダー
- ・ p. 42～44→社会福祉士 演習・実習科目関連締切等
- ・ p. 45～48→精神保健福祉士 演習・実習科目関連締切等

● 5 / 9～6 / 10について、追加・変更はありません。

※本冊子より、上記からの追加・変更点のみを掲載いたします。

# 社会へ視点を

教員 MESSAGE

社会福祉学科長・教授 三浦 剛

国際ソーシャルワーカー連盟の、ソーシャルワークの定義が改訂されました。個人と環境の交互作用に視点を置き、環境調整とエンパワメントをもって介入していくことには大きな変化はないものの、社会改良や社会開発機能により重点の置かれた定義になりました。

世界には未だ戦争や貧困がはびこり、爆弾や飢餓に苦しむ人たちがたくさんいます。今回の定義の改訂は、このような問題にこれまで以上に焦点を当てた結果です。たしかに私たちの仕事は個人と環境との交互作用に視点を置きますが、あまりにも劣悪な環境下での交互作用は、負の円環的作用しか引き起こさないでしょう。

思えばソーシャルワークの始まりは、19世紀のおわり、資本主義社会の病気が多くの「新たな貧困」（ワーキング・プア）を生んだことが背景にあります。多くの働く貧困層を見て疑問を感じたことから貧困調査がなされ、スラム街でのセツルメント活動や慈善組織化運動が行われました。これらは社会改良の視点をもったものでした。

日本においても、敗戦後の焦土の果てに、再びこのような苦吟の日を経験することのないよう、新たな民主的で平和な社会を作る目的で、社会福祉の制度が憲法に位置づけられました。ソーシャルワークは個人へ向けた視点以上に社会への視点をもつことが求められているのではないのでしょうか。その意味がsocialworkということばに込められているのではないのでしょうか。

ひるがえって今、私たちの暮らすこの社会の状況はどうでしょうか。冒

頭記したように世界に目を向ければ戦争のニュースを聞かない日はありません。日本でも非正規雇用が働く人の4割にならんとし、ワーキング・プアということばが再び聞こえてきます。連鎖を引き起こし、階層、格差を生み出す子どもの貧困も大きな問題になってきました。ソーシャルワークの新定義を待つまでもなく、今私たちに求められているのは社会への視点です。

みなさんが本学に入学された目的はそれぞれあると思います。ただ、私は「資格」をとることだけを目的とした勉強はつまらないと思います。社会福祉士というライセンスをもっている人が必ずしもソーシャルワーカーではありません。「な～んちゃって福祉士」と揶揄されるような福祉事業従事者にはなって欲しくありません。そのためにはしっかりとした基礎理論、価値と倫理をまず学修することです。そして、ソーシャルワークの価値が社会への視点にあるのなら、常にその動きに注意を払い、必要に応じてソーシャル・アクションを起こす、行動することも専門職として必要なことです。

社会福祉の目的は貧困と戦争の撲滅です。数え切れないほどの、多くの先輩たちの犠牲の上に築いてきたこの社会が、再び暗い方向に向けて舵を切りつつあります。

入学を機会に、今一度この社会をしっかりと見つめ、社会正義の実現に寄与するために何を成すべきかを考えていただければと思います。

私事ですが、長くお世話になった通信教育部の役職を離れることになりました。学生のみなさんを始め、多くの方から多くの学びをすることができました。ありがとうございます。なお、スクーリング、レポート指導などは今後も続けていきます。どうぞ今後ともよろしく願いいたします。